



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月2日

上場会社名 株式会社ダイセキ環境ソリューション 上場取引所 東・名
 コード番号 1712 URL <https://www.daiseki-eco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 浩也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画管理本部長 (氏名) 丹羽 利行 (TEL) 052-819-5310
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績(2025年3月1日~2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	5,891	24.1	690	24.3	699	26.5	427	41.2
2025年2月期第1四半期	4,747	△28.5	555	△37.7	553	△37.4	302	△44.6

(注) 包括利益 2026年2月期第1四半期 419百万円(18.1%) 2025年2月期第1四半期 355百万円(△31.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2026年2月期第1四半期	25	47	—	—
2025年2月期第1四半期	18	02	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	29,540	60.0	19,248	60.0		
2025年2月期	29,031	60.2	18,966	60.2		

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 17,747百万円 2025年2月期 17,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2026年2月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日~2026年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	10,700	20.1	1,180	10.5	1,190	10.6	660	10.6	39	31
通期	21,000	5.2	2,380	5.6	2,400	6.3	1,350	9.3	80	42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期1Q	16,827,120株	2025年2月期	16,827,120株
② 期末自己株式数	2026年2月期1Q	40,561株	2025年2月期	40,561株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期1Q	16,786,559株	2025年2月期1Q	16,790,456株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、国内の企業業績や雇用・所得環境の回復傾向がみられる一方で、米国のトランプ政権による関税政策や中東・ウクライナでの紛争など海外情勢は混迷しており、国内外の景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属する建設業界におきましては、民間設備投資や公共投資の持ち直しの動きが続いていたものの、建設業界の残業規制や高齢化に伴う人手不足によって建設工事の停滞が懸念されています。

このような状況の中、当社グループの主力事業である土壌汚染調査・処理事業については、前期から継続中の関東・関西エリアの大規模・高付加価値案件が当社グループの業績に大きく貢献しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高5,891百万円(前年同期比24.1%増)、営業利益690百万円(同24.3%増)、経常利益699百万円(同26.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益427百万円(同41.2%増)と増収増益となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(土壌汚染調査・処理事業)

関東エリアにおける大規模汚染土壌処理・工事案件や関西エリアの大規模工場廃棄物撤去コンサル案件等の高付加価値案件が、前期に引き続き進捗した結果、土壌汚染調査・処理事業におきましては、売上高4,414百万円(前年同期比30.6%増)、営業利益622百万円(同28.8%増)と増収増益となりました。

(資源リサイクル事業)

PCB(ポリ塩化ビフェニル)事業は、2027年3月末までの処理期限に向けた駆け込み需要があり、売上及び利益は好調な結果となりました。連結子会社であるグリーンアローズ中部、グリーンアローズ九州及び杉本商事においては、再資源化のための廃棄物の入荷量及び処理量は底堅く推移し、売上・利益ともに安定的な結果となりました。その結果、資源リサイクル事業におきましても、売上高1,545百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益300百万円(同8.0%増)と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は29,540百万円となり、前連結会計年度末に比べ508百万円増加いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が増加し、棚卸資産が減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は10,292百万円となり、前連結会計年度末に比べ227百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が増加し、支払手形及び買掛金、長期借入金が減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は19,248百万円となり、前連結会計年度末に比べ281百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年4月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,413	1,377
受取手形、売掛金及び契約資産	5,394	6,178
棚卸資産	480	356
その他	195	206
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	7,476	8,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,776	5,715
土地	10,681	10,681
建設仮勘定	509	561
その他(純額)	1,621	1,552
有形固定資産合計	18,588	18,511
無形固定資産		
のれん	735	720
顧客関連資産	819	802
その他	94	87
無形固定資産合計	1,648	1,610
投資その他の資産		
その他	1,317	1,308
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,317	1,307
固定資産合計	21,554	21,429
資産合計	29,031	29,540

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,791	1,646
短期借入金	1,330	1,770
1年内返済予定の長期借入金	1,043	991
1年内償還予定の社債	8	8
リース債務	92	91
未払金	291	319
未払法人税等	208	294
賞与引当金	167	264
その他	386	417
流動負債合計	5,318	5,802
固定負債		
社債	4	4
長期借入金	4,002	3,753
リース債務	257	243
役員退職慰労引当金	15	15
退職給付に係る負債	169	176
その他	297	297
固定負債合計	4,746	4,489
負債合計	10,064	10,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,287	2,287
資本剰余金	2,089	2,089
利益剰余金	12,872	13,183
自己株式	△40	△40
株主資本合計	17,209	17,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	281	219
退職給付に係る調整累計額	11	8
その他の包括利益累計額合計	293	228
非支配株主持分	1,464	1,500
純資産合計	18,966	19,248
負債純資産合計	29,031	29,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	4,747	5,891
売上原価	3,638	4,602
売上総利益	1,109	1,289
販売費及び一般管理費	553	599
営業利益	555	690
営業外収益		
受取利息	0	5
不動産賃貸料	5	5
鉄屑売却収入	0	7
その他	2	1
営業外収益合計	9	20
営業外費用		
支払利息	7	9
その他	3	0
営業外費用合計	11	10
経常利益	553	699
特別利益		
固定資産売却益	—	3
補助金収入	19	—
特別利益合計	19	3
特別損失		
固定資産除却損	3	0
固定資産圧縮損	19	—
特別損失合計	23	0
税金等調整前四半期純利益	549	703
法人税、住民税及び事業税	178	278
法人税等調整額	9	△59
法人税等合計	187	218
四半期純利益	361	485
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	57
親会社株主に帰属する四半期純利益	302	427

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	361	485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△62
退職給付に係る調整額	1	△2
その他の包括利益合計	△6	△65
四半期包括利益	355	419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	296	362
非支配株主に係る四半期包括利益	58	57

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	土壌汚染 調査・処理事業	資源リサイクル 事業	計		
売上高					
中京	992	664	1,656	—	1,656
関東	1,639	1	1,640	—	1,640
関西	746	521	1,268	—	1,268
九州	—	181	181	—	181
顧客との契約から生 じる収益	3,378	1,368	4,747	—	4,747
外部顧客への売上高	3,378	1,368	4,747	—	4,747
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	51	53	△53	—
計	3,380	1,420	4,800	△53	4,747
セグメント利益	482	278	760	△205	555

(注) 1. セグメント利益の調整額△205百万円は、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△218百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	土壌汚染 調査・処理事業	資源リサイクル 事業	計		
売上高					
中京	1,481	721	2,202	—	2,202
関東	1,452	0	1,452	—	1,452
関西	1,476	561	2,038	—	2,038
九州	—	198	198	—	198
顧客との契約から生 じる収益	4,410	1,481	5,891	—	5,891
外部顧客への売上高	4,410	1,481	5,891	—	5,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	63	67	△67	—
計	4,414	1,545	5,959	△67	5,891
セグメント利益	622	300	922	△232	690

(注) 1. セグメント利益の調整額△232百万円は、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△244百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であ
 ります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半
 期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産及び投資その他の資産に係る償却費を含む。)及びの
 れんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	277百万円	260百万円
のれんの償却額	15百万円	15百万円